

# 1 教育の充実 (Ⅲ-1)

乳幼児期からの発育・発達段階に応じた人づくりの大切さを学校・家庭・地域が共有する中で、一人ひとりの可能性を開花させ、ふるさとに愛着と誇りをもち、社会の一員として自立していくことができる子どもたちを育みます。

## 【施策】

### (1) 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実 (Ⅲ-1-1)

家庭は、子どもに基本的な生活習慣や規範意識などを身につけさせ、心身の調和のとれた発達を促す上で第一義的な責任を負っていますが、少子化、核家族化、価値観の多様化、雇用の流動化など、社会の大きな変化の中で、教育力の低下が懸念されています。

また学校は、いじめ、不登校、学力・体力の低下、生活習慣の乱れなど、様々な教育課題に対応しており、一人一人の子どもや保護者と向き合う十分な時間を確保することが困難となってきています。

そして地域社会は、かつては濃密な人間関係を背景として日常生活の営みの中に教育力を宿していましたが、その力が低下しつつあり、地域全体で子どもを育む仕組みを意図的に再構築していく必要に迫られています。

このような現状を打開するためには、学校・家庭・地域が、それぞれの役割と責任を十分自覚するとともに、互いに信頼しあえる関係を築きながら、社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。

## 【主要事業】

### ①結集！しまねの子育て協働プロジェクト

子どもの健やかな成長は県民総ての願いです。しかし、子どもを取り巻く環境は近年大きく変化し、家庭や地域の教育力の低下が課題となっています。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要があります。

このため、地域住民が積極的に子どもの教育や子育て支援に関わる環境づくりを進め、学校・家庭・地域住民の連携協力を推進する各事業が有機的に連携する仕組みを作ることにより、社会全体の教育力の向上を図ります。

事業名	事業内容	予算額(千円)
結集！しまねの子育て協働プロジェクト	※内訳(各事業)については、以下の(ア)～(ウ)に再掲	
小計		143,798

### (ア) ふるさと教育推進事業

ふるさとへの愛着と誇りをもち、美しいものや神秘的なものに感動する心豊かでたくましい子どもを育むため、地域の自然・歴史・文化・産業といった教育資源を学習素材にするとともに、地域の大人から話を聞いて学んだり、地域へ出かけて自然体験、ボランティア活動等の社会体験、生産体験、職場体験を積み重ねるなど、地域の「ひと・もの・こと」を活用した学習を行います。さらに、自分たちの地域にある課題に正対することで、地域の一員として地域に貢献したり、地域を大切にしたりする心を育みます。この「ふるさと教育」は県内の公立小中学校のすべての学級で行います。

また、「ふるさと教育」を通じて、地域の大人が学校教育を支援する気運を醸成します。

事業名	事業内容	予算額(千円)
ふるさと教育推	①市町村交付金	

進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で小中9年間を通した系統的・発展的な「ふるさと教育」を実施するため、定額交付金を助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 市町村あたり 10 万円 1, 900</li> <li>1 校あたり 7 万円 22, 400</li> </ul> </li> <li>・「ふるさと教育」を支援する中学校区ごとの体制を整えるため交付金を助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 中学校区あたり 5 万円 5, 000</li> </ul> </li> </ul>	
	②学校と企業等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と企業等が連携して教育活動を行うために必要な企業等の情報収集と公開</li> </ul>	3, 356
	③公民館ふるさと教育推進モデル事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携して公民館で行う「ふるさと教育」をモデル地区において実施 (島根県公民館連絡協議会へモデル事業を委託)</li> </ul> <p style="text-align: center;">【モデル地区】 10 地区程度</p> <p>※中学校区単位の複数の公民館を1地区</p>	1, 000
	④小・中学校「ふるさと教育」講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中9年間を通した系統性・発展性のある「ふるさと教育」を展開するために、「校種間連携の進め方」や「中学校区の計画作成」などについての研修を市町村立小・中学校を対象に開催</li> </ul> <p style="text-align: center;">【H26～28の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中9年間を通した系統性・発展性のある「ふるさと教育」</li> <li>○学校を支援する地域の体制の充実</li> </ul>	420
	小 計	

#### (イ) 実践活動推進事業

地域全体で教育に取り組む体制づくりを進めるために、学校・家庭・地域住民の連携協力を推進する各事業を有機的に連携させ、協働して子どもを育てていく活動をとおし、地域全体の教育力の向上を図ります。

事業名	事業内容	予算額(千円)
実践活動推進事業	①学校活動モデル事業交付金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のモデルとなるような学校・家庭・地域住民が連携協力して行う学校の活動に助成</li> </ul> <p style="text-align: right;">1校あたり上限10万円</p>	500

	②人材育成研修 ・地域の子育て新体制づくりにかかわるコーディネーター等の養成・資質向上のための研修と県推進委員会の設置	2, 188
	③社会教育主事講習派遣教員活動交付金 ・当該年度に大学で社会教育主事の資格を取得した教員のフォローアップ研修として行う学校・家庭・地域の連携協力に関する活動に係る経費を派遣元の学校に交付	600
小計		3, 288

### (ウ) 市町村支援事業

学校支援、放課後支援、家庭教育支援、土曜日の教育支援等、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ、学校・家庭・地域が協働して子どもを育ていく、市町村の取組を支援します。

事業名	事業内容	予算額(千円)
学校支援・ 放課後支援・ 家庭教育支援	①学校支援(学校支援地域本部) ・地域の実情に応じた仕組・組織のもとに、コーディネーターが核となり、学習支援、環境整備、登下校の見守りなどのボランティア活動を中心とする学校支援活動を実施  ②放課後支援(放課後子ども教室) ・放課後や週末等に、公民館や学校の余裕教室等を活用し、年齢の異なる子どもたちが群れて遊んだり体験・交流する場を提供 ・放課後児童健全育成事業と連携した総合的な放課後対策の推進(放課後子どもプラン)  ③家庭教育支援 ・市町村が実施主体となり、親学プログラム及び親学ファシリテーターを活用し、全ての親が安心して家庭教育を行うための支援活動を実施 ・親学ファシリテーター等の組織化等による相談対応 ・親学プログラムを活用した保護者への学習機会や親子参加行事の企画・提供など	104, 634
土曜日の教育支援	④土曜日の教育支援 ・地域の多様な経験や経験や技能を持つ人材 ・企業等の協力により、土曜日に体系的・継続的なプログラムを計画・実施 [課程内活動][課外授業][地域による活動] [その他]	1, 800



事業名	事業内容	予算額(千円)
社会教育主事派遣制度	学校・家庭・地域住民の連携協力関係を各市町村で具体的に構築していくための人的基盤づくりとして、県の社会教育主事を市町村教育委員会へ派遣	派遣者数23名 (6市9町1村)
社会教育主事講習派遣	公立小中学校教員等に社会教育主事の資格を取得させるため、必要な講習へ派遣(上限20人)	5,000
地域教育力市町村支援事業	派遣社会教育主事や市町村の社会教育担当者等を対象とした社会教育に関する専門的な内容の研修会を開催 ・新任派遣社会教育主事等研修会(年1回) ・派遣社会教育主事等研修会(年3回) ・市町村社会教育担当者研修会(年1回) ・社会教育主事有資格者・社会教育主事実践交流会(年1回)	1,672

#### ④公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム(文部科学省委託事業)

公民館等社会教育施設の活性化を目的として、地域人材による、若者の支援、防災・減災、家庭支援、地域振興など現代的課題に対応した課題解決するため実証を伴う、先進的支援プログラムを実施する。

事業名	事業内容	予算額(千円)
いじめや児童虐待予防に対応した親学プログラムの開発と地域人材の育成事業	いじめや児童虐待の未然防止を図る親学プログラムの開発とそのプログラムを進行できる地域人材を育成 ・新親学プログラムの開発 ・新親学ファシリテーター養成講座  実施機関：東部・西部社会教育研修センター	2,500
絵本でつながる親子の絆、地域の絆(未就学児の読書習慣の定着)	親世代の読書への理解とボランティアによる支えを効果的に進めるため、家族や親子の絆を深める機会を提供し、男性の主体的な参画を促す。 ・「ねえ！この本読んで。」プロジェクト ・「読みメン」プロジェクト ・地域の子ども読書応援隊  実施機関：県立図書館	2,000
その他	文部科学省申請中	2,500
小計		7,000

### ⑤家庭教育支援体制整備事業

「教育の原点は家庭教育にある」と言われ、家庭の果たす教育的役割は大きなものがあります。しかしながら、「過保護、過干渉」的な傾向、放任主義等による家庭の教育力の低下が要因となり、メディア漬けの日々からくる自然体験不足や生活習慣病などの低年齢化傾向、基本的な生活習慣の未定着等、様々な問題が発生しています。

こうした課題に対して、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分自覚するとともに、互いに信頼し合える関係を築きながら社会総がかりで教育力を向上していく必要があります。

そこで、家庭教育の意識啓発を行うため、学校と家庭、地域社会を結ぶ要として、家庭教育に大きな関わりを持つPTAと連携し、また、その核となるPTA役員等の研修を通して家庭教育の支援体制を進めます。

事業名	事業内容	予算額(千円)
家庭教育支援体制整備事業	地域の教育力向上や家庭・学校・地域の連携強化、教育環境の改善等を図る連絡協議会及び研修会の開催 ①県PTA連合会合同連絡協議会の開催 ②PTA連合会合同研修会の開催 ・PTA役員等の資質及び指導力の向上 ・各PTA連合会の連携強化と活動意欲の高揚	220

## 【施策】

### (2) 発達段階に応じた教育の振興 (Ⅲ-1-2)

子どもの規範意識や善悪を判断する力、忍耐力や生命を大切にしている心、社会性や他人を思いやる心などが十分に育まれていないと懸念されています。

このような子どもの感性や人間性を育むために、県内のすべての小中学校で、学校図書館を有効に活用した読書活動や挨拶、コミュニケーション力、思いやりの心などふるまい向上の視点を取り入れた「心の教育」を推進していく必要があります。

## 【主要事業】

### ①子ども読書活動推進事業

第3次「子ども読書活動推進計画」(H26～H30年度)の策定・進行管理を行うとともに、子ども読書の重要性を広く普及啓発しながら、すそ野の広い読書運動を展開し「子ども読書県しまね」の実現を目指します。

事業名	事業内容	予算額(千円)
子ども用バリアフリー図書整備事業	特別な支援の必要な子どもたちに本との出会いの機会を充実するとともに、県内全ての子どもたちが本をとおして世界を広げ、自立する力を育てる。 ・子ども用バリアフリー図書の整備 ・活用研修・広報啓発	9, 113
子ども読書活動推進会議	県内における子ども読書活動の推進方策について協議するため、島根県子ども読書活動推進会議を開催 ・第3次推進計画の進行管理や子ども読書活動における指導・助言	213
子ども読書フェスティバル	子ども読書フェスティバルの開催 (県内3か所での開催を予定)	750
県立図書館機能強化事業	県内すべての公立小中学校における学校図書館活用教育を充実させるため、県立図書館の使命である学校図書館支援機能及び人材養成機能を強化 ①学校司書等の人材養成研修 ・学校図書館に配置される司書、ボランティア等の専門性を高めるための専門研修 ・子ども読書活動を幅広い県民運動として展開するための読書ボランティアを発掘・養成する基礎研修 ②司書配置の強化 ・人材養成研修実施に伴う司書の業務増を補うため、嘱託職員を3名配置し、併せて開館日や開館時間の増など直接サービスを改善	7, 038
小計		17, 114

